

# SQLiteで動かす

WordPressを動作させるためには、データベースとしてMySQLが必要だ。したがって、さくらインターネットのライトプランやlolipopのエコノミープランなどのMySQLのない安価なプランではWordPressをそのまま動作させることができない。

WordPress公式でもSQLiteのコアへの実装を進めているが、時間がかかっておりまだ完了していない。

## 現状のWordPressのバックアップ

今回はMySQLで動かしているWordPressをSQLiteに変更した。作業を行う前に、WordPressのデータをすべてエクスポートしておく必要がある。プラグインやテーマの設定も個別にエクスポートが必要なものがあるので、面倒だが逐一エクスポートなりバックアップの機能を使って保存しておく。（今回はそれを忘れたのでWordPress全体をバックアップからリストアしてエクスポートするという手戻りが生じてしまった）

## wp-sqlite-dbのインストール

- 参考サイト
  - [WordPressをSQLiteで動かす方法 | さくらサーバーライトでWordPressを動かす](#)
  - [99円でWordPress! WordPressとSQLiteのインストール方法](#)
- 使用するのはwp-sqlite-db
  - src/db.php を wp-content/ にコピーする。
  - 今回はMySQLからの移行なのでwp-config.phpのキーの書き換えを行った。
  - データベースは 'wp-content/database/.ht.sqlite' に作成される
  - これを変更するには DB\_DIR, DB\_FILE を変更する（[README.md](#)）

## SQLite3がない

WordPressの初期設定が表示され、インストールもいできて「順調だ」と思っていたら、ログインしたところ...

```
Fatal error: Uncaught Error: Class 'SQLite3' not found in D:\xampp\htdocs\b2b\wp-content\db.php:2840 Stack trace: #0 D:\xampp\htdocs\b2b\wp-includes\update.php(78): WP_SQLite_DB\wpsqlitedb->... #7 {main} thrown in D:\xampp\htdocs\b2b\wp-content\db.php on line 2840
```

というエラーが出てしまったXAMPPを使っているせいらしい。

- [WindowsのPHP7以降でSQLite3が使用できないときの対処法](#) から
  - php/php.ini を編集する

```
extension=pdo_sqlite
extension=sqlite3
```

のコメントアウトを外す。これで動作した。

## phpLiteAdminをインストール

phpMyAdminのようなデータベースを管理するGUIが使いたい。検索して見つけたのが、

- [phpLiteAdmin](#)
  - [Download](#)
  - [Installation Instructions](#)

1. phpliteadmin.php と phpliteadmin.config.sample.php をサーバー上の適当なところにコピーする
2. phpliteadmin.config.sample.php を phpliteadmin.config.php にリネームして編集する
  - \$password - ログインパスワード
  - \$directory - SQLiteのデータベース`_.ht.sqlite`が存在するディレクトリ
3. ブラウザで phpliteadmin.php にアクセスする

とりあえずlocalなXAMPP+PHP7の上で動作したので、次はlolipopで動作させてみるつもり。

From:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/> - らぎめも

Permanent link:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/wordpress/sqlite?rev=1710226136>

Last update: **2024/03/12**

